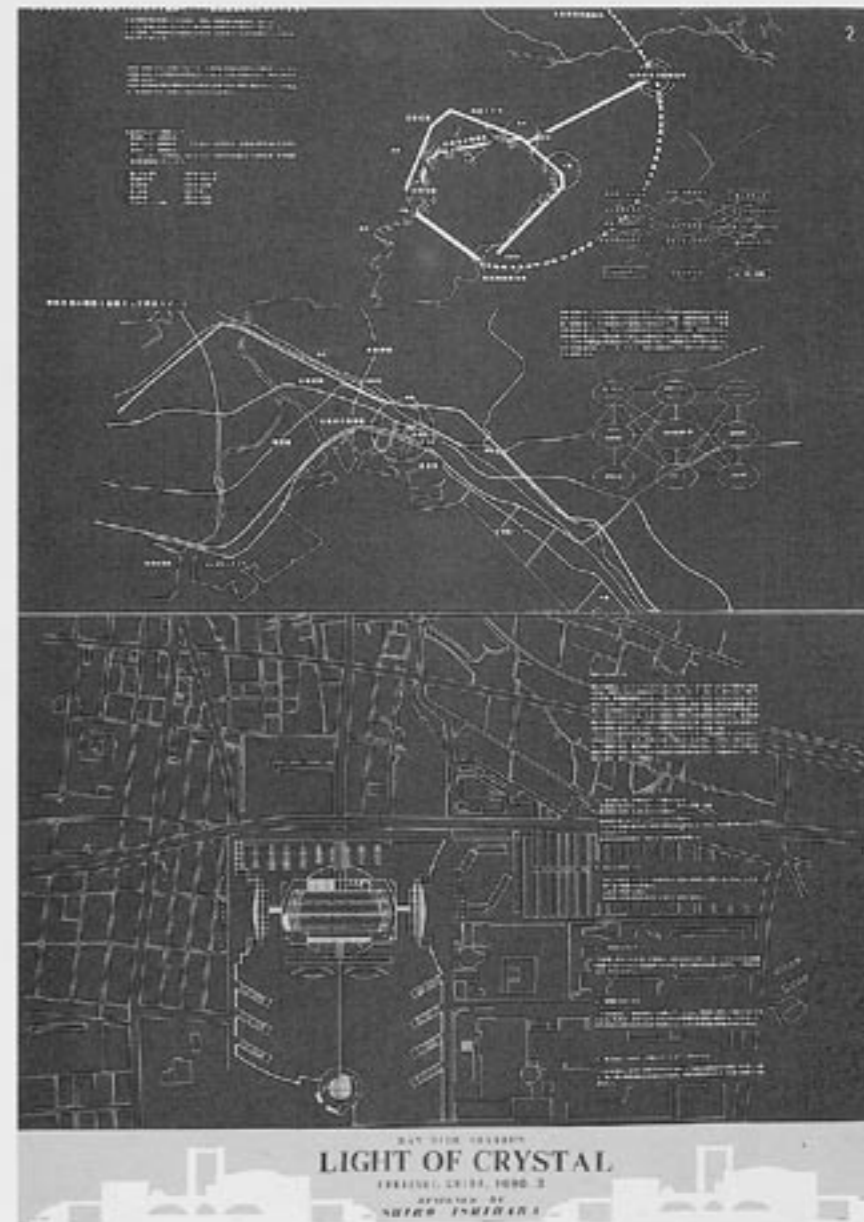
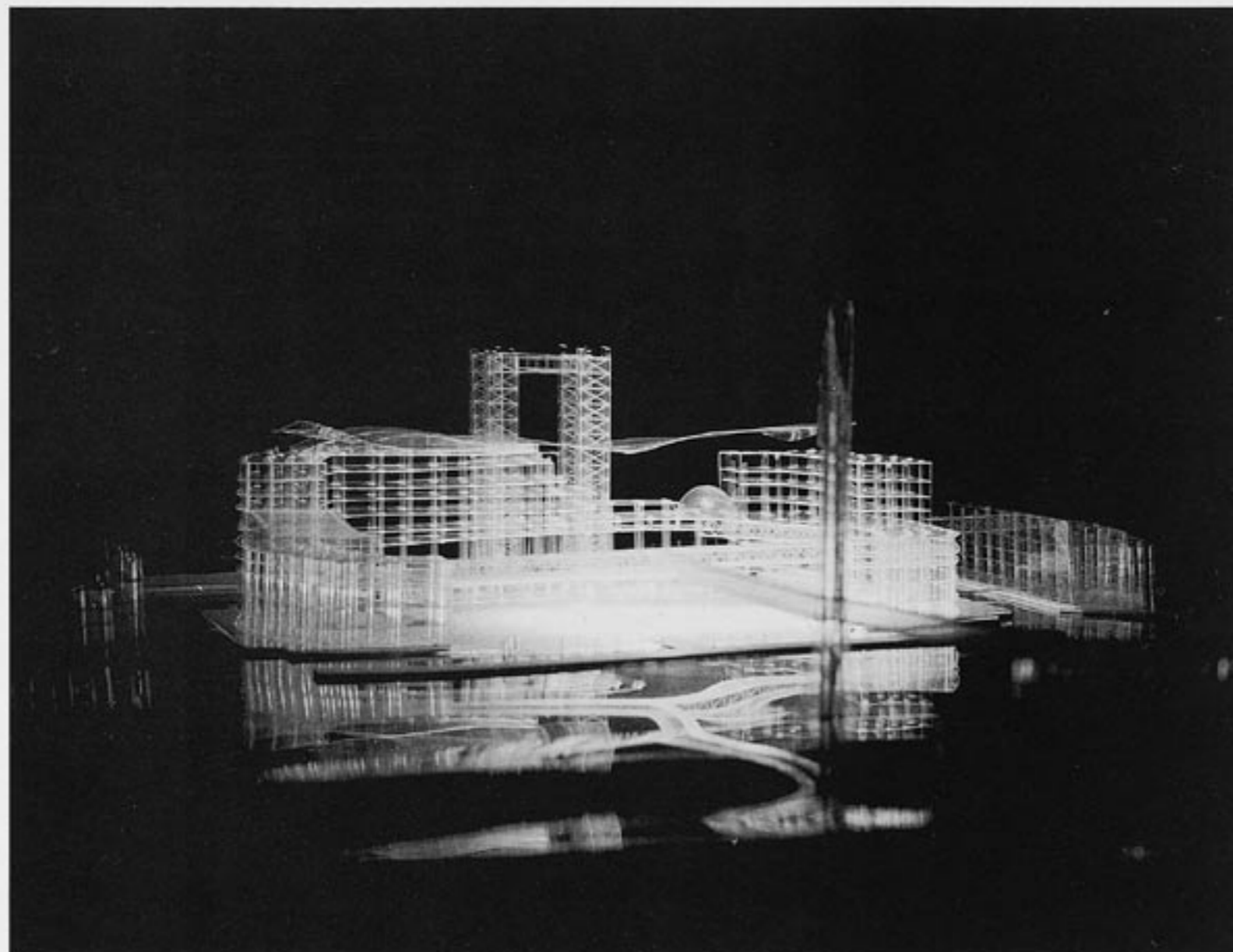


LIGHT OF CRYSTAL

桜建賞受賞

石原 嗣朗



■設計主旨

石油文明時代が定着してきた結果、世界を結ぶ主要交通は飛行機となり、当然空港を意識した地域開発を考へざるを得なくなる。関東においては羽田と成田の間地点にあって、両空港のアクセスが整っている船橋は最も適した空港都市となり得る。又、船橋は幕張と舞浜リゾートの2大ウォーターフロントエリアの間地点にあり、工場跡地では船橋だけが東京湾計画をつぶす恐れがある。そのため船橋のウォーターフロント地区に、意識的に賑わいのある空間をつくる必要がある。

船橋港は関東屈指のイワシの漁港であるが、港の真中に汚水処理場があり、市民が近寄りたがい場所になってしまっている。又、この汚水処理場が街を2つに分けてしまっていて、分断された街にしてしまっている。そこでこの港を再開発することで船橋をまとまりのある漁港の街として発達させ、親水性のある街づくりを計画する。

